

## 環境総合推進費

### 【4-1301】「親潮沿岸域のゼニガタアザラシと沿岸漁業の共存に向けた保護管理手法の開発」

研究代表者：桜井 泰憲（北海道大学大学院水産科学研究院）

研究実施期間：平成 24～26 年度

平成 25 年 8 月 4 日現在

#### ①移動生態と遺伝的交流の有無による個体群構造と地域特性の解析（東京農業大学）

\*混獲・ストランディング個体からのサンプル収集中。北方四島調査について、8月中旬に調査実施予定

#### ②鰭脚類による漁業被害と資源動態との関連の評価（独立行政法人水産総合研究センター北海道区水産研究所）

\*えりも漁協から提供を受けた被害状況調査表を整理中

#### ③飼育および野生環境下における個体の採餌行動解明（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター）

\*6月29・30日 地元NGO えりも・シール・クラブ主催で岩礁上の個体を生体捕獲、標識付け 14頭 ゼニガタアザラシ12、ゴマフアザラシ2（鳥獣捕獲許可 環北地野許第1306071号）

\*そのうち、4頭（オス2メス2）を食性と行動調査のために青森県営あさむし水族館に輸送、現在、水族館の環境に馴致、現在、4頭とも飼育展示中。飼育実験も開始した。

#### ④混獲・漁業被害軽減手法の開発と持続型漁業の社会経済学的評価（北海道大学水産科学研究院）

\*漁具の改良に関する試み：秋サケ定置網漁において、まずはアザラシの入網行動の観測および漁期中の網環境の観測を行うために、定置網に装着する機器装着について、漁業者・漁協と打ち合わせを行った（8月2日）。9月初旬の漁の開始前に、必要な機器類を設置予定で、準備中。

\*社会学的調査：えりも町において、基幹産業である漁業、観光に係る社会経済的な動態を把握することにより、海洋環境の保全と経済活動の連関、変動を注視していくことを目的とする。漁協から過去50年間分の漁獲量統計データを提供いただき、エクセル入力によるデータ化を行い、予備解析をはじめている状況。また、えりも町役場には、人口統計データ等の提供を依頼済みであり、データがそろい次第、大学宛に輸送いただく予定

以上